

☆学級活動(1)

第(8)回 話し合い活動 (10)月(29)日(火)曜日

議題	北、子フェスタを盛り上げ、成功させよう!!				
提案理由	この前の運動会では、みんなで力をすれば"むずかしい事にも挑戦でき、成功させる事ができる"という事を学びました。また、1つの目標に向かっ、ますます仲間としてまとまってきました。もうすぐ北、子フェスタです。6年生として、最後の北、子フェスタをみんなが楽しく笑顔になれる最高のフェスタにしたいと思い提案しました。				
話し合いのめあて	友達の見解につなげて発表しよう。 友達の発言に対して反応しよう。				
計画委員会	司会		黒板記録		観 察
	副司会		ノート記録		計 時
話し合いの順序				時間	確かめておくこと
1 はじめの言葉	5 提案理由			7分	北、子フェスタ11月16日(土) (開会行事は1時間目) 体育館でい、 柱1,30分間でできること と 全員参加できること 柱2、準備期間 11月1日~11月15日 (2週間)
2 学級の歌	6 話し合いのめあての確認				
3 計画委員の紹介	7 小柱の確かめ				
4 今日の議題					
8 話し合い	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①の柱 代表委員会の柱についての話し合い 開会行事の内容を考えよう。</p> </div>			25分	学級会の振り返り (◎4 → 1△)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>②の柱 6年生として フェスタ全体を盛り上げるための工夫</p> </div>				自分の思いを 伝えられましたか。
					友だちの思いが 理解できましたか。
					話し合いのめあてが 守れましたか。
					今日の話し合いで決 まったことは何か、 わかりましたか。
					決まったことをす るのは、楽しみです か。
9 決まったことの発表	11 先生の話			13分	
10 今日の振り返りとMVP	12 おわりの言葉				

9 学校行事年間指導計画

月	日	曜	行 事	種 別	ね ら い
4	8	月	始業式, 辞任式	儀式的	
	9	火	赴任式	儀式的	
	9	火	入学式準備	勤労生産・奉仕的	・保護者や地域の方を招いて, 新入学の児童に対し, 全校児童で歓迎の意を表す。
	10	水	入学式	儀式的	*式の中の呼びかけは, 6年生でプランを練る。
4～5月		各種健康検査	健康安全・体育的	・自分の身体に関心をもち, 健康で安全な生活について自ら考え, 実行する子どもを育成する。	
5	1	水	地区児童会, 一斉下校	健康安全・体育的	
	2	木	1年生を迎える会・春の遠足	遠足・集団宿泊的	・異年齢集団活動を通して, 上級生には思いやる心とリーダーシップ, 下級生には協力する態度とメンバーシップを育てる。 ・異年齢集団で協力して活動することを通して満足感や達成感を味わわせる。 *たてわり遊びの計画・実行
			交通安全教室	健康安全・体育的	・主に自転車と歩行を中心とした基本的な交通ルールやマナーを身に付け, 日常生活において安全に道路を横断するための基本的な技能と知識を習得させる。 ・児童を通じて各家庭における安全意識の向上を目指す。
	14	火	雷水難教室	健康安全・体育的	・梅雨の時期を前に, 雷や大雨から身を守る方法を知り, 事故を回避する力を身に付けさせる。
	21 22	火 水	宿泊学習	遠足・集団宿泊的	・宿泊を伴う集団活動を通して, 野外活動, 自然探究を行い, 規律・協力・奉仕・自然愛などの尊さを体験的に学習し, 人と自然に優しい心と態度を育てる。
6	4	火	プール掃除	勤労生産・奉仕的	
	6 7	木 金	修学旅行	遠足・集団宿泊的	・自主研修を通して, 規律・協力の大切さを知り, 自主性・社会性を養う。 ・優れた文化遺産に触れることで, 国際交流や国際貢献の大切さの理解を深めるとともに, 原爆の悲惨さを学び, 平和の尊さを知る。
7	19	金	終業式	儀式的	
9	2	月	始業式	儀式的	
	2	月	身体測定, 視力検査	健康安全・体育的	・自分の身体の成長に関心をもち, 健康で安全な生活について自ら考え, 実行する子どもを育成する。
	27	金	バス旅行	遠足・集団宿泊的	
10	3	木	不審者対応避難訓練	健康安全・体育的	・放送や先生の話をしっかり聞き, 落ち着いて行動することができるようにする。 ・防犯行動隊の話聞き, 防犯への意識を高める。
	11	金	運動会準備	勤労生産・奉仕的	・異学年集団での活動を取り入れ, 協力したり, 責任をもって行動したりする態度を養い, 所属感を高め
	13	日	運動会	健康安全・体育的	

					<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会に意欲的に参加し，自主性・計画性・創造性などの能力や態度を伸ばす。 ・地域の人々とのふれあいを図り，学校や地域社会に対する理解を深める。 <p>*スローガン決め・児童会種目・ 運動会盛り上げの工夫は児童会で行う。</p>
11	16	土	北っ子フェスタ	文化的	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の学習活動の成果発表の場と考える。 ・異学年，保護者，地域の方々を対象として発表を行う中で，異学年，異学年集団との交流を体験する。 <p>*開会行事を児童会で行う。</p>
	29	金	火災避難訓練	健康安全・体育的	<ul style="list-style-type: none"> ・校内での地震・出火時における避難の知識・技能を習得するとともに，防災に対する意識を高める。
12	24	火	終業式	儀式的	
1	8	水	始業式	儀式的	
2	26	水	6年生を送る会	文化的	<ul style="list-style-type: none"> ・代表委員会の決定事項を受け，6年生と一緒に楽しく過ごす活動を重視する会にする。 <p>*プログラムを作成し，運営する。</p>
3			ありがとう集会	文化的	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間お世話になった方々を招待し，感謝の気持ちを伝える。 <p>*6年生は，お礼の言葉を考えて言う。</p>
			卒業式練習	儀式的	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活に有意義な変化や折り目を付けることにより，厳粛で清新な気分を味わわせ，新しい生活の展開への動機付けとする。 ・個々の儀式のもつ固有の意義に即して，児童同士が集団の中で喜びや苦しみを共にして生活しているという自覚や仲間意識を深める。
	17	月	卒業式準備	勤労生産・奉仕的	
	18	火	卒業式	儀式的	
	24	月	修了式	儀式的	

～学校行事(2)「文化的行事」北っ子フェスタ全体計画(指導と評価の一体化)～

事前の活動

運動会 ↓ フェスタ

- 運動会の振り返りからフェスタへの意欲付けをする。



評価の視点

- 運動会の振り返りができている。
 - ・振り返り文
- フェスタの目標を立てることができている。
 - ・自己目標

教師の指導

運動会の成果をみんなで確認し合い、その後の学校行事である北っ子フェスタにつなげるようにする。

話し合いの打合せ

- 運営ボランティア委員会から出されたフェスタに向けた代表委員会の原案を基に話し合いの打合せをして、話し合い内容を学級全体に知らせる。
- 話し合いに向けて、自分の考えをもたせる。

評価の視点

- 積極的に学級会の打合せや準備を行うことができる。
 - ・児童の言動
- 自分なりの考えをもち、まとめることができる。
 - ・学級会ノート

計画委員には

「司会の進め方」や学級活動ノート等の資料を使って、話し合いの準備を行うようにする。

教師の指導

全校の立場に立って考えるようにする。

本時

- 学級みんなの思いを入れた計画案を出し合うとともに、どのようにして北っ子フェスタを盛り上げるかについて考える。



評価の視点

- 北っ子フェスタをどのようにして盛り上げ成功させるか、最高学年として自分たちができていることを考えることができる。
 - ・児童の言動
- 代表委員会で話し合われる柱についての意見を出し合い、学級としてのアイデアをまとめることができる。
 - ・児童の言動
- 話し合いでのよさを見つけ、活動への意欲をもつことができる。
 - ・学級活動ノート

計画委員には

話し合いの手順を確認しながらたくさんの意見を求め、その中からよりよいアイデアにまとめるようにする。

こんな場合には

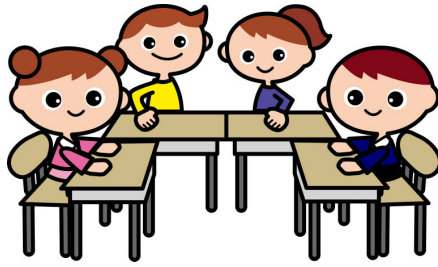
なかなか意見が出ないときには、近くの子と相談する時間をもつようにする。

教師の指導

話し合いでの児童のがんばりを紹介し、よさ見つけの視点を与えるようにする。

学級での話し合い活動

- 1～6年生みんなの思いを受け止めながら、決定していく。



評価の視点

- 少数意見も何とか生かそうとしている。
- 各学級の思いを受け止めながら、よりよい計画になるように話し合っている。
- 下学年の代表委員のがんばりを取り上げている。

- ・話し合いの観察
- ・発表の観察

計画ボランティア委員にはできるだけ、全校の意見がどこかで生かされるように配慮させる。

代表委員には

話し合ってきたことが大切にされていることを理解させてから、学級に戻すように配慮させる。

教師の指導

あらかじめ各学級の意見を把握し、流れを予想させておく。

- 発表に関する授業時間、朝の会、帰りの会の時間等を使って、並び方や挨拶等の打合せ・発表内容の練習をする。



評価の視点

- 6年生として見られることを意識して、また、自己を伸ばそうとする意欲をもって、積極的に練習に参加している。
- 学級の一員としての自覚をもち、自他のよさに気付きながら、練習に参加している。

- ・練習の様子
- ・子どもの日記 等

こんな子どもには

うまく発表できない子には、個別に指導したり、グループ別の練習時間の確保をしたりする。

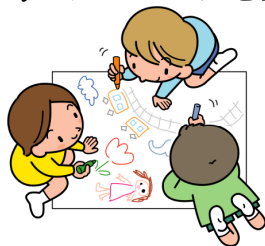
代表の挨拶をする子には

本番通りのリハーサルをし、自信をもたせる。

教師の指導

練習中の様子をビデオに撮るなどの工夫をし、それを見ながら、よい点や改善点について話し合わせ、主体的に実践しようとする意欲を高める。

- 代表委員会で決まった、学級で担当することになった係や自分たちが考えたフェスタを盛り上げるための準備をする。



評価の視点

フェスタを盛り上げ成功させよう意識しながら、互いに責任もって準備に取り組んでいる。

- ・準備の様子

こんな子どもには

係の準備に消極的な子には、学級みんなで取り組むことに意味があることを伝え、一人一人の存在価値を伝える。

教師の指導

がんばりを認め、がんばったことは褒めることで、活動意欲を高める。

フェスタ当日の活動

開会行事への参加

- 全校でする北っ子フェスタ「開会行事」が盛り上がるように、リーダー性を発揮しながら、積極的に参加する。



評価の視点

学校のリーダー的存在であることを自覚し、フェスタが盛り上がるように意識しながら、積極的に参加している。

- ・参加の様子
- ・事後の振り返り文

教師の指導

フェスタを盛り上げる立場であることや、その後の各学級の発表につながる場であることを意識して全校で行う開会行事を盛り上げる役目を果たすことを確認しておく。

自分の学級の発表

- 自分たちの発表をする。



評価の視点

- 練習の成果を発揮しようと努力している。
- 学級の一員としての自覚をもち、共同して実践している。
- 最高学年としての態度を意識している。

- ・発表の様子

教師の指導

緊張している子には、声を掛けて励ますようにする。当日の朝、発表のときに気を付けることや鑑賞における留意点を指導しておく。

他の学級の発表鑑賞

- 他の学級の発表を静かに鑑賞する。



評価の視点

それぞれの学級のよさに着目して鑑賞している。

- ・鑑賞の様子
- ・事後の振り返り文

教師の指導

各学級の発表の概要を事前に確かめさせておき、観る視点を明確にする。

【観る視点】

- ・入退場や発表中の態度のよさ
- ・表現のよさ

事後の活動

フェスタのビデオ視聴

●フェスタの様子を映像で振り返る。(給食時間等)



評価の視点

自他のよさを見付けることができる。

・発言内容

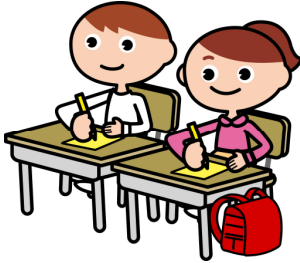
教師の指導

ビデオ視聴前に、評価の観点を説明する。

・自他のよさを見付ける。

活動の振り返り

●今後の生活へつながるように、北っ子フェスタの振り返りをする。



評価の視点

○フェスタの振り返りができている。

○その後の学校生活の目標を確認し合っている。

・話合いの様子
・振り返り文

教師の指導

話合いを通して、フェスタを盛り上げることができたか振り返り、その後の学級・学校生活につなげる。

参考文献「特別活動で子どもがかわる！新しい評価と指導のモデル集」

小学館 杉田 洋 監修

福岡県小学校特別活動研究会

* 評価規準

	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学校行事(2) 「文化的行事」	文化や芸術、平素の学習活動などに関心を持ち、互いの努力を認め合い、自己を伸ばそうとする意欲をもって、積極的に北っ子フェスタに取り組もうとしている。	学校や学年の一員としての自覚を持ち、美しいものや優れたもの、自他のよさや自己の成長などについて考え、判断し、協同して実践している。	北っ子フェスタの意義や、日頃の学習成果を発表する方法、鑑賞の仕方などについて理解している。

春日北小学校 北っ子フェスタ タイムスケジュール

11月16日(土)

1. 開会行事 8:40~9:25 (45分間)

2. ① 4年生による合唱発表

② 教育講演会(食育)

3. 今まで学習したことの発表会(各ブース)

【前半】10:40~11:10 (30 min.)

— 休憩 —

【後半】11:20~11:50 (30 min.)

[フェスタのねらい]

日々の学習活動の成果の場と考える。異学年、保護者、地域の方々を対象として発表を行う中で、異学年、異年齢集団との交流を体験する。



第 四 回 代 表 委 員 会

10 月 31 日

児童会室

年 組 話 合 い で 決 ま っ た こ と

議 題

「北子三ツタ開会行事の計画を立てよう」

提案者 【運営本三ツタ委員会】

提案理由 今年の運動会も一年生から六年生まで、赤組、白組 両方ともお揃いにして心に残る運動会に作り直そう。今度の北子三ツタ学習してまだこどもも楽しみに合つて北子三ツタが開かれます。今年も、発表会とし合つて開会行事も行こうと決まりました。そこで、お揃いの発表会には北子三ツタ開会行事の運動会で行うことに決めました。また、開会行事は、お揃いにして、お揃い発表会です。

話し合いのめあて

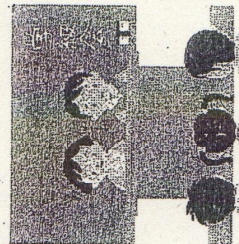
- ・提案理由のめあてを認識して、北子三ツタを考へよう。
- ・お揃いの発表会、お揃いにして、お揃い発表会です。

柱一開会行事を行う内容を表しましょう。

北子三ツタ (十月十六日) 開会行事表

- 一 お揃いの発表
- 二 三ツタのめあての出しがめ
- 三 代表委員会が決めたこと (柱一)
- ・時間は三分間
- ・体育館で全員参加で行う
- 四 校長先生のお話
- 五 お揃いの発表

その他



※ 十月二十九日の昼休みに運営委員会が集めに來ます。